

放射性物質の挙動と流出

「流域に沈着した放射性物質の移動と消長に関する文献調査及び知見整理」【ZRFb-12T1】 成果発表会

(公社)日本水環境学会が受託し、ノンポイント汚染研究委員会が実施した平成24年度環境省環境研究総合推進費による研究課題【ZRFb-12T1】「流域に沈着した放射性物質の移動と消長に関する文献調査及び知見整理」(研究代表者:古米弘明)の研究発表会を開催いたします。

平成23年3月の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故により、放射性物質が多量に放出され流域に沈着しました。本研究課題では、流域に沈着した放射性物質の挙動に関する文献調査を行い、環境中での移動及び消長についての知見を整理し提示することを目的としています。対象とする放射性物質に関して、森林、農地、市街地における環境中での移動と消長に関する国内外のこれまでの調査研究の文献等情報を収集するとともに、収集した情報から、放射性物質の環境中での挙動に及ぼす影響因子を考慮しながら主要なプロセスを抽出し、長期および短期の両方の視点で時間経過に伴う挙動の変化等を整理しました。

さらに、放射性物質の環境中での推定される主な移動経路や堆積しやすい場所、環境中での減衰について整理した知見から考察し、環境動態を考慮した確実かつ効果的な除染を行うための知見を提供すると共に、地域レベルのモニタリングのあり方や留意点など、リスク管理を行う上での現実的な方法論について提案いたします。



参加費無料
定員：100名
事前の申し込みが必要

プログラム

- 13:30 開会
- 13:35~ 特別講演
「福島原発事故由来の放射性核種の移行調査：データから読み取れる移行の実態と今後」
恩田裕一(筑波大学生命環境系 教授)
- 14:15~ 研究課題の概要説明
古米弘明(東京大学大学院工学系研究科 教授)
- 14:30~ セシウム137の土壌への吸着と移動挙動
五十嵐敏文(北海道大学大学院工学研究科 教授)
- 14:50~ 森林からの放射性物質の流出
駒井幸雄(大阪工業大学工学部 教授)
- 15:05~ 休憩
- 15:20~ 農地からの放射性物質の流出
井上隆信(豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授)
- 15:35~ 市街地からの放射性物質の流出
古米弘明(東京大学大学院工学系研究科 教授)
- 15:50~ 河川における放射性物質の動態
長尾誠也(金沢大学環日本海域環境研究センター 教授)
- 16:10~ 流域における放射性物質の動態モデル
佐藤祐一(滋賀県琵琶湖環境科学センター 研究員)
- 16:30~ 総合討論
- 16:55 閉会

申し込み・問い合わせ

氏名・所属・連絡先(E-mail又はFax)を記載の上、
E-mail又はFaxでお申し込みください

(公社)日本水環境学会

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

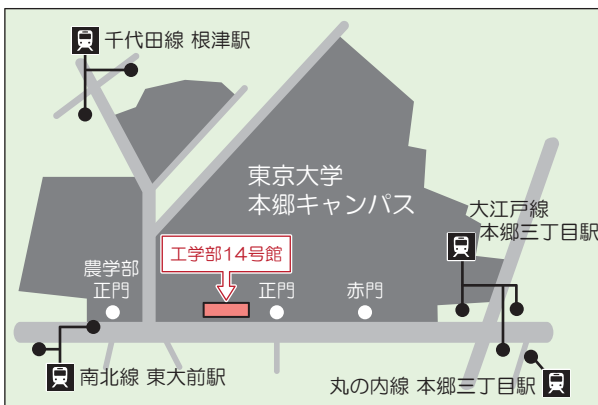
グリーンプラザ深川常盤201号

電話03-3632-5351 Fax03-3632-5352

E-mail: nonpoint@jswe.or.jp

日時 2013年3月18日(月)
13:30~17:00

会場 東京大学工学部14号館141講義室
〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1



最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)	徒歩8分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩6分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩8分
東大前駅(地下鉄南北線)	徒歩1分

主催



(公社)日本水環境学会
ノンポイント汚染研究委員会

共催



東京大学大学院工学系研究科附属
水環境制御研究センター